

II. 新人看護職員研修内容に関すること

1. 研修期間 (12) か月

2. 研修プログラム

時期(月) ※1	関受入 研修の 対象と している 研修 ※2	研修テーマ	形式※3 (該当項目 に○を付 けて下さい)		研修場所 (※4)		時間数/日	研修内容
			講義	演習				
4月		看護技術	○	○	部署外	院内会議室	21/6	①感染予防 ②インスリンについて ③採血・注射④BLS・AED ⑤気管内挿管介助 ⑥喀痰吸引 ⑦体位ドレナージ ⑧導尿、浣腸、膀胱留置カテーテル ⑨輸液・シリンジポンプの取り扱い ⑩フィジカルアセスメント(呼吸・循環・腹部)
4月	○	患者の権利と看護倫理	○		部署外	院内会議室	1/1	①看護実践における倫理的課題 ②看護職の責務(品格ある仕事をしよう)(公立世羅中央病院参加)
4月		栄養管理について	○		部署外	院内会議室	1.5/1	①栄養評価の方法 ②栄養計画について
4月		診療録と看護記録	○		部署外	院内会議室	1.5/1	①診療録と看護記録 ②看護必要度
5月		ペーパーシミュレーション		○	部署外	院内会議室	2.0/1	多重課題における優先順位を考える
5月	○	①感染予防 ②緩和ケア	○	○	部署外	院内会議室	2.0/2	①針刺し防止、医療廃棄物の取り扱い②緩和ケア・医療用麻薬について(公立世羅中央病院参加)
6月		①シミュレーション ②輸血の取り扱い ③薬剤の取り扱い	○	○	部署外	院内会議室	10/2	①多重課題シミュレーション②、③看護業務(静脈注射)について、輸血の取り扱いについて(オーダーから実施まで)劇薬・毒薬等の取り扱い、薬品の保管方法など
7月		メンタルサポート	○	○	部署外	院内会議室	1/1	コラージュを作成することで、今の自分を見つめる。※心理療法の一つで、方法としてはいろんな写真や雑誌の切り抜き(今回は予めこちらが準備)を選び、A4の画用紙に貼ることで、自分の内面を目に見える形にし、その作品の説明を行う。臨床心理士よりアドバイスや肯定的フィードバックをもらうことで自分の内面を客観的にみつめることができ、また切り抜きや雑誌を選び、貼る作業により新人同士コミュニケーションが取れ、リラックスが出来る。この研修で新人の精神状態等が把握でき、その後の対応に役立てられた。

時期 (月) ※1	医療機関受入 研修の対象と している研修 ※2	研修テーマ	形式※3 (該当項目 に○を付 けて下さ い)		研修場所 (※4)		時間数/日	研修内容
			講義	演習				
8, 9, 10 月	○	褥瘡のアセ スメントと 管理	○	○	部署外	院内 会議室	3.0/3	①褥瘡予防②褥瘡予防のためのスキンケア ③体位変換、ズレ防止の体験④耐圧測定
10月		十二誘導心 電図	○	○	部署外	院内 会議室	1.0/1	①心電図の基本②十二誘導心電図装着の実 際
12月		気管内挿管 介助と救急 カート		○	部署外	院内 会議室	1.0/1	シミュレーター気管トレーナーを使用し ての気管内挿管介助の実施
1月		感染予防	○	○	部署外	院内 会議室	1.0/1	感染予防技術の振り返り
4~3月		各部署での シミュレー ション		○	部署内	各病 棟	各部署 1.0/1	多重課題、胸腔ドレーンの管理、採血技 術、急変、ショック徴候、看取りの看護

※1 時期には実施月をご記入ください。

※2 医療機関受入研修として公開している研修に○印を記入して下さい。

※3 形式には講義・演習の当てはまる方に○印を記入して下さい。両方に○印を記入しても差し支えありません。

※4 新人自身が所属する部署の場合「部署内」、自身の所属する部署以外の場合「部署外」と記入して、
さらに、具体的な場所を記入して下さい。

※5 行が不足した場合、適宜追加してご記入ください

3. 研修の指導体制の詳細(各看護単位、看護部門)

看護部門に1名の専従の研修責任者を、各看護単位に実地指導者複数名、教育担当者1名を配置。計画的に新人看護職員集合研修を実施し、その後各部署でOJTを実施している。計画的に新人看護職員集合研修を実施し、その後各部署でOJTを実施している。2ヶ月に1回実地指導者・教育担当者会議を開き、情報交換等を行っている。各部署では1～2ヶ月ごとの指導者会議を用い、指導者の育成にも力を入れている。

4. 医療機関受入研修内容の周知方法・時期など

- ・ 自施設のホームページに掲載
- ・ 広島県看護協会に登録

5. 医療機関受入施設数(※今年度中の予定も含めて、ご記入ください) (1)施設

6. 医療機関受入研修の受入可能人数(実人員) (5)名

7. 医療機関受入研修の受入人数(実人員)
(※今年度中の予定も含めて、ご記入下さい) (4)名

Ⅲ. 新人看護職員の到達度等の評価に関すること

1. 評価方法（医療機関受入研修に参加している医療機関へのフィードバックも含めて、自由にご記入ください）

- ・終了後のアンケート、定期的なチェックリストにて評価
- ・各病棟で指導者による評価
- ・参加機関には最終的に(1年後)上記の評価を文書で依頼する予定

Ⅳ. 事業の評価等に関すること

1. 医療機関受入研修の実施にあたって工夫した点(自由にご記入ください)

- ・研修後にも自分で見直しができるよう研修資料を準備。
- ・研修項目は、自施設の認定看護師を活用し、より専門的な研修が受けられるものにした。
- ・同じ学校の卒業生もいたこともあり、研修前に自己紹介を行い、お互い情報交換をすることで、他病院からの新人看護師の緊張を緩和するように努めた。

2. 医療機関受入研修の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

- 効果について
 - ・新人看護師は他病院の看護師から刺激をもらうよう関わることで、やる気がでると考える。
 - ・講師(研修企画者)については、外部への評判に繋がるという緊張感のもと、十分に準備することが、自分の頭の整理・学習・モチベーションアップに繋がる。
- 評価について
 - ・1年終了時に参加施設からの評価をフィードバックし、今後に役立てていく予定。